

リハビリテーション科の取り組み

医療法人社団永生会南多摩病院リハビリテーション科

井出 大、大淵康裕、今村 渉

【はじめに】

平成 25 年度、当リハビリテーション科は救急棟 7 階に本拠を移し 1 年が経過した。平成 21 年度から年々増加する処方に対応するため 4 月には新卒理学療法士 4 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 2 名の計 8 名、永生病院から 1 名、永生クリニックから 1 名計 2 名の理学療法士が異動となり、体制が大幅に強化された 1 年となった。ここに平成 25 年度の取り組みについて報告する。

【南多摩病院の概要】

当院は地域医療のなかで急性期医療の役割を担っている。平均在院日数は 14.9 日となっており、許可病床数は 170 床（小児科 10 床含む）、標榜診療科は内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、循環器科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、小児科、救急科、透析科、眼科、女性総合診療科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科である。当科の体制は人員では理学療法士 17 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 6 名であり、施設基準は脳血管 I、運動器 I、呼吸器 I、心大血管 I となっている。

【平成 25 年度の取り組み】

1) 入院・外来におけるリハ実施延べ人数の増加

今年度のリハ実施延べ人数は外来では昨年度と比較し約 9% 増となり、入院では約 30% 増となった。

2) 人員の拡充

前年度は理学療法士 11 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 3 名であったが、今年度は理学療法士 17 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 6 名となり 10 名の増員で運営した。

3) 院内外における教育研究活動の充実

院内では新卒者に対する教育を拡充し、法人内、当科独自の研修プログラムを計 32 回実施した。また当科全体勉強会、病棟班別勉強会も各々月 1 回の頻度で実施した。学術集会、研究会における演題発表は 12 演題（前年度比 2 演題増）、院外での講演・講義は計 10 件（4 件増）、当科スタッフが行った。また臨床実習生の受け入れは関東圏内の大学・専門学校を中心に PT では 9 校 18 名、ST では 1 校 1 名を受け入れた。

4) 地域各種団体、職能団体への協力体制

地域各種団体へは東京都南多摩地域リハビリテーション支援センター、八王子市言語聴覚士ネットワーク、西多摩リハビリテーション研修会、NPO 法人東京多摩リハビリ・ネットへの事務局支援活動を積極的に行い、職能団体は公益社団法人東京都理学療法士協会への協力を行った。